

名誉市民 西 健次氏 逝去



▶小松町合併30周年記念行事で、農林商工まつりの開催と小松中央公園の完成を記念して挨拶をする故西健次氏（写真中央）
昭和60年11月17日撮影



故西 健次氏 ご経歴

大正8年3月31日
昭和11年3月14日
昭和12年3月～昭和14年12月
昭和15年2月～昭和18年4月
昭和18年5月～昭和19年3月
昭和20年2月～昭和21年2月
昭和21年7月～昭和22年4月
昭和22年4月～昭和30年4月
昭和30年4月～昭和37年4月
昭和37年4月～昭和61年4月
平成元年4月
平成7年6月

（現）西条市小松町新屋敷に出生
愛媛県立西条農業学校卒業
朝鮮総督府勤務
兵役
呉海軍施設部勤務
愛媛県庁勤務
小松町役場勤務
小松町助役
小松町役場勤務
小松町長
勲四等瑞宝章受章
小松町名誉町民

西条市名誉市民、西健次氏が平成18年2月8日午前6時31分、永眠されました。享年86歳でした。氏は、大正8年小松町新屋敷に生まれ、西条農業学校を卒業されました。

戦後、小松町職員を経て、昭和22年に小松町助役に選任され、戦後の困難な地方自治に尽力されました。

昭和37年に推されて小松町長に就任され、第3代から第8代まで

6期24年にわたり町政を担当されました。

この間、生活環境の整備および生産基盤の整備等を総合的に推進するため、農村総合整備計画を作成されたほか、東予新産業都市指定の際、小松町の人口減少を防ぐため、住宅政策の必要性を認識して計画的に町営住宅の建設に努められました。

さらに、教育環境の整備・充実を図るため、文教の町を宣言されたほか、乳幼児医療の無料化を全国にさがしかけ実施するとともに、新保健予防事業を実施し、住民の健康に関する知識の高揚に努め、現在の医療保障制度を住民に定着させるなど、小松町の産業の振興と教育・文化・福祉の向上など、町政各般にわたり多大な貢献をされました。

氏は、その半生を公共への献身一筋に生まれ、地方自治の伸展と小松町の発展に大きな足跡を残されました。

ここに市民の皆さんとともにご功績をおたたえし、謹んでご冥福をお祈りいたします。